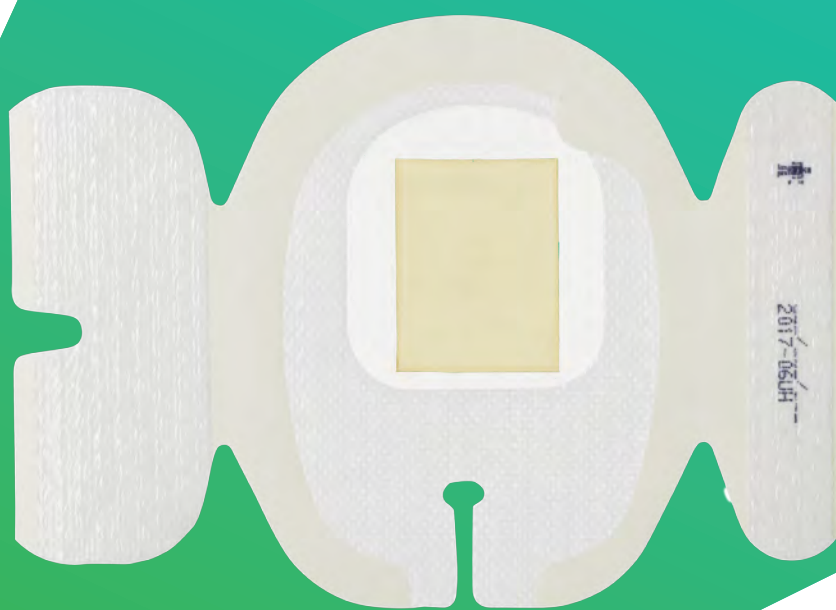


**3M** Science.  
Applied to Life.™

# 3M™ テガダーム™ CHG ドレッシング



# CRBSI<sup>※1</sup> 低減効果が承認されている 唯一の透明フィルムドレッシング<sup>※2</sup>

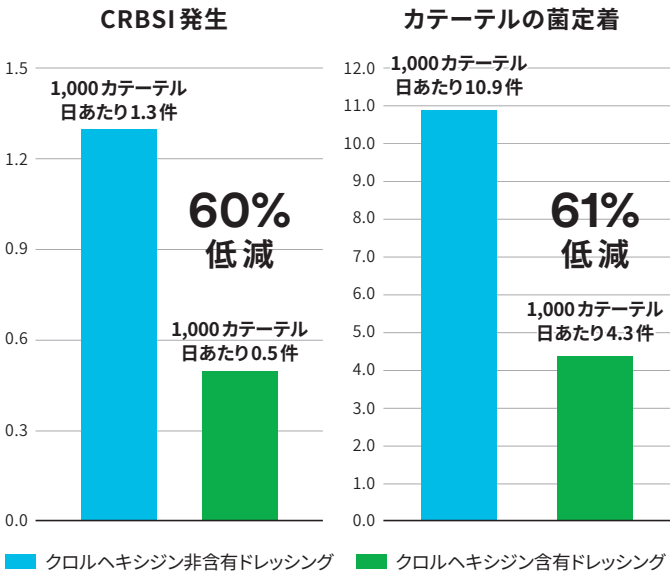


※1. カテーテル由来血流感染 / ※2. 2019年8月 3M調べ

## Point.1 CRBSIの低減を実証

3M<sup>TM</sup> テガダーム<sup>TM</sup> CHG ドレッシングは、CRBSIを低減します。

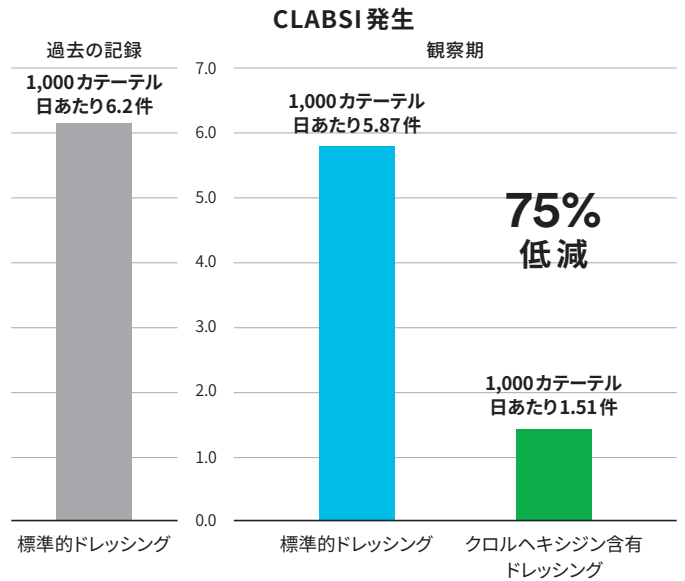
重症成人患者のCRBSI予防におけるクロルヘキシジン含有ドレッシングと  
クロルヘキシジン非含有ドレッシングに関する無作為化対照試験



Timsit JFほか, American Journal of Respiratory and Critical Care Medicine 2012;186(12):1272-1278

クロルヘキシジン含有ドレッシングの使用によるCLABSI<sup>※3</sup>発生率の低減

※3. 中心ライン関連血流感染



Scheithauer Sほか, Infection 2014;42:155-159

## Point.3 視認性

カテーテル周囲を包み込むCHGゲルパッドは透明なので挿入部位の継続観察が可能です。



## Point.4 操作性

ゲルパッドとドレッシングが一体型になっているので、ワンステップで貼ることができます。

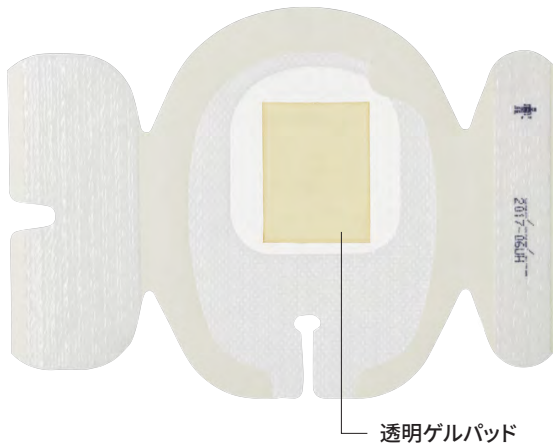


## Point.2

# 皮膚細菌叢の再増殖を抑制

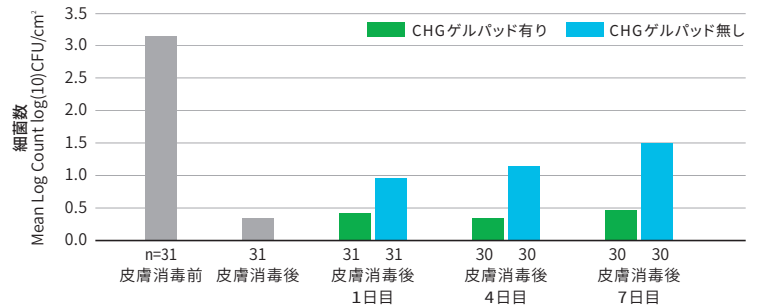
2w/w%のCHGを含有した透明ゲルパッドが、細菌の再増殖を最長7日間抑制します。

CHG: クロルヘキシジングルコン酸塩



### 皮膚細菌叢の再増殖抑制試験

消毒薬: 2%クロルヘキシジン70%  
イソプロピルアルコール製剤



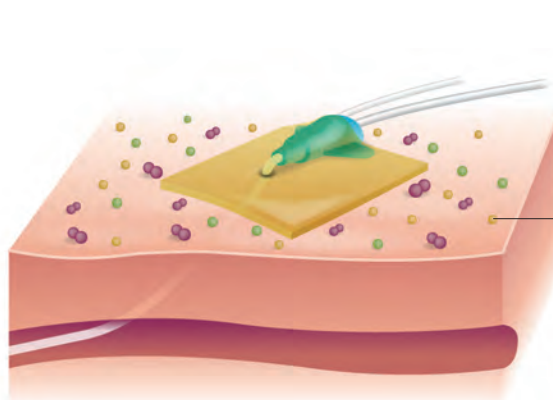
M.H. Bashir ほか, American Journal of Infection Control 2012; 40: 344-348より抜粋

健康成人32例を対象としてテガダーム™ CHG ドレッシング (CHGゲルパッド有り) およびテガダーム™ トランスペアレント ドレッシング (CHGゲルパッド無し) 貼付下の皮膚上の細菌数を経時的に計測した。

計測ポイントは皮膚消毒前、2%CHG製剤による皮膚消毒後、1日目、4日目、7日目の5ポイントとした。

37種類の微生物に対して抗菌性を示します。

CRBSIの約60%は患者自身の皮膚細菌叢が原因\*4であるという報告があります。

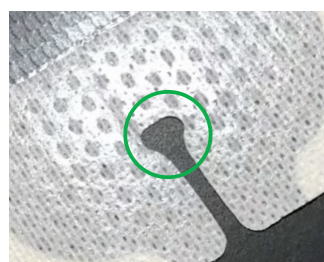


\*4. N. Safdar ほか, Intensive Care Med 2004;30: 62-67

## Point.5

### 固定性

切り込みが入っていることでカテーテルが引っ張られる力を中央で分散させます。



## Point.6

### 追従性

周囲補強不織布の外縁をスリット入りに変更し、伸縮性をもたせることで貼付後に皮膚がつっぱることを防ぎます。



# クロルヘキシジン含有ドレッシングは、さまざまなガイドラインで推奨されています

## CDC/HICPAC (2011年)『血管内カテーテル関連感染予防のためのガイドライン』より抜粋

### 血管内カテーテル関連感染予防のためのクロルヘキシジン含有ドレッシングの使用に関する推奨2017年改訂版

#### 1.1 推奨

#### 1. 18歳以上の患者

- a. カテーテル由来血流感染 (CRBSI) またはカテーテル関連血流感染 (CABSI) を低減するための臨床適応を明記した FDA 承認済みのラベルのあるクロルヘキシジン含有ドレッシングを、短期留置用の非トンネル型中心静脈カテーテルの挿入部位を保護するために使用することが推奨される。(カテゴリー IA)

#### 2. 18歳未満の患者

- a. クロルヘキシジン含有ドレッシングは、皮膚に重篤な有害反応が生じるリスクがあるため、早産児における短期留置用の非トンネル型中心静脈カテーテル挿入部位を保護するための使用は推奨されない。(カテゴリー IC)
- b. 18歳未満の小児患者および非早産児における短期留置用の非トンネル型中心静脈カテーテル挿入部位を保護するためのクロルヘキシジン含有ドレッシングの使用に関しては、この年齢群における有効性および安全性について公表された質の高い研究によるエビデンスが不足しているため、いかなる推奨も策定できない。(未解決問題)

## 国公立大学附属病院感染対策協議会『病院感染対策ガイドライン』2018年版より抜粋

### 第4章 病態別感染対策 II カテーテル関連血流感染 2 中心静脈カテーテル

#### 4. カテーテル挿入部皮膚の管理

- h. カテーテル関連血流感染症のハイリスク例には、包括的な感染対策の一つとして、クロルヘキシジンを含んだドレッシング剤をルーチンに使用することを考慮する。(カテゴリー IA)

#### 〈解説〉

近年ICUの重症患者では、クロルヘキシジン含有ドレッシングの使用により、カテーテル関連血流感染症のリスクを有意に下げることができると報告がなされてきている。クロルヘキシジン含有ドレッシングには、ジョンソン・アンド・ジョンソン社バイオパッチ® CHG含浸スポンジドレッシングと3M社のテガダーム™ CHG ドレッシングがある。両者のデータを合わせた、Safdarらによるメタアナリシスでも、これらのクロルヘキシジン含有ドレッシングの使用がカテーテルへのコロナイゼーションだけでなく、カテーテル関連血流感染症の予防にも有効であることが示され、ハイリスクの患者には、包括的な感染対策の一つとしてルーチンの使用が推奨されている。

国公立大学附属病院感染対策協議会 病院感染対策ガイドライン改訂第5版p.124-125, 2018, 株式会社じほう発行

## 国立大学病院集中治療部協議会 ICU 感染制御 CPG 改訂委員会 (2013年)『ICU 感染防止ガイドライン』改訂第2版より抜粋

### 第4章 部位別感染症対策 2 血管留置カテーテルに関連した血流感染対策 I 中心静脈カテーテルの衛生管理

#### 3. カテーテル挿入部の管理

- ② クロルヘキシジン含有ディスクスポンジあるいはクロルヘキシジン含有透明ドレッシングを使用するほうがよい。(B-I)

国立大学病院集中治療部協議会ICU感染制御CPG改訂委員会 ICU感染防止ガイドライン改訂第2版p.62, 2013, 株式会社じほう発行

## 3M™ テガダーム™ CHG ドレッシング

EOG滅菌

高度管理医療機器 / 抗菌性カテーテル被覆・保護材 承認番号 22200BZX00663000  
販売名 テガダーム™ CHG ドレッシング

	製品番号	主な用途	サイズ	付属品	入れ目 枚/箱
			cm		
	1657R	各種カテーテル固定	ドレッシング 8.5×11.5 透明ゲルパッド 3×4	固定用テープ(滅菌済) 1本 記録用ラベル 1枚	25
	1658R		ドレッシング 10×12 透明ゲルパッド 3×4		
	1659R		ドレッシング 10×15.5 透明ゲルパッド 3×7		
	1660R		ドレッシング 7×8.5 透明ゲルパッド 2×2		

### 禁忌・禁止

1. 再使用禁止
2. クロルヘキシジン製剤に対し過敏症の既往がある患者には使用しないこと。[アナフィラキシー・ショック(血圧の低下、意識の混濁、呼吸困難等を呈する急性の過敏反応。多くは、全身的な皮膚症状(蕁麻疹、浮腫、紅潮、掻痒感等)を初発症状とする。)を起こす恐れがあるため]
3. 生後2ヶ月未満の乳児には使用しないこと。[本品を未熟な皮膚に使用すると過敏症や皮膚の壊死を起こす可能性があるため]
4. 耳、眼、口腔、粘膜面に接触させないこと。[クロルヘキシジン製剤の上記部位への使用により、アナフィラキシー・ショックの発現が報告されているため]
5. 本品を感染した部位には使用しないこと。[本品はカテーテル関連血流感染やその他の経皮医療機器関連感染の治療を目的とはしておらず、その効果について十分な検証がなされていないため]
6. 本品を熱傷、粘膜部位に使用しないこと。[過敏症を起こす恐れがあるため]

### 使用目的又は効果

カテーテル挿入部又は注射針の刺入部に直接貼付して、その保護・固定に用いる。  
また、中心静脈あるいは動脈カテーテルを挿入した患者において、カテーテル由来血流感染 (CRBSI) 及び局所感染を低減する。

※添付文書をよく読んでからご使用ください。

3M、テガダームは、3M社の商標です。

スリーエム ジャパン株式会社

医療用製品事業部

<http://go.3M.com/medical-jp/>

Please Recycle. Printed in Japan.  
© 3M 2019. All Rights Reserved.  
HPM-442-J(0819)SE

2019年8月発行

カスタマーコールセンター

製品のお問い合わせはナビダイヤルで

 0570-011-321

8:45~17:15 / 月~金 (土日祝年末年始は除く)